

新発田市 令和6年度 第4回定例記者会見

1 日 時 令和6年6月28日(金)午前11時～

2 場 所 ヨリネスしばた501会議室

3 内 容

【市長発表項目】

○パリ2024オリンピック バスケットボール男子日本代表戦パブリックビューイング

○海老名市小学生が「SHIBATA 版スタディー・ツーリズム」を体験

○U・I ターン就職推進「企業見学バスツアー」「家賃補助金制度」の開始

【その他】

○新発田市パートナーシップ・ファミリーシップ制度開始

○サマーフェスティバル2024

○「ねこ展 in 蔵春閣」「ねこフェス in 文化会館」の開催

○新発田信用金庫 図書館へ寄附金贈呈

○イクネスしばたに巨大なプラネタリウムが出現！？

○夏季企画展「源氏物語絵を読み解く」

○落谷虹児記念館企画展 夢二の美人画展

○合唱のつどい

○藤塚浜海水浴場 海開き及び安全祈願祭

あいさつ

○梅雨なのか夏なのか分からないような天気が続いております。農家としては、もう少し雨が欲しいと思うところではないでしょうか。というのも、この時期にもかかわらず新発田の水がめである内の倉ダムが、80%の貯水量ということであります。今年の異常気象のことを考えると80%では少し心配だという気がしないでもないのですが、新発田市は雨に一喜一憂しなければならない地域でもありますので、その辺の塩梅が非常に難しいのですが、そうは言ってももう少し梅雨らしい雨が欲しいと思っているところでもあります。

○政治も天候もスカッとしない状況の中で、海を渡った青年大谷翔平選手が大変活躍しています。このことは、日本人として誇りに思うと同時に、モヤモヤした心がスカッとするホームランをスタンドへ運ぶ様子に、私たち日本人はどれほど元気づけられているのでしょうか。まさに日本人として本当に心から応援をしたいし、そして誉れだなと思っているところでもあります。

○そこで、大谷翔平くんほどの活躍ができるかはわかりませんが、私も来月キルギス共和国へ行ってまいります。終戦後、多くの日本兵がシベリアに抑留され、その多くが帰らぬ人となった中で、キルギスのタムガ村で過ごした日本兵が全員無事に帰還できたということを1冊の本にまとめたのが、川東村出身の宮野泰さんという方です。この方のお墓参りにキルギスの駐日大使がお見えになった際に、ぜひキルギス共和国において、できればキルギス国民に働く場所などを提供できないか検討いただきたいという要請がありました。駐日大使というのは国を代表する方であり、その方から要請があったということでもありますので、私と議長、商工会議所の会頭さんも含めて行っていきたいと思っております。7月18日には新潟空港で出発式を行いますので、是非、取材においていただければと思います。遠い国ですので、イメージもわかりませんが、もしかしたら就労の成果が大谷翔平くんの活躍のようになりうるかもしれないので、人材受入れに向けた協議をしっかりと進めていきたいと思っています。

それでは、会見項目を説明いたします。

はじめに、「パリ 2024 オリンピック バスケットボール男子日本代表戦パブリックビューイング」についてです。

- いよいよパリオリンピック開幕まで約 1 か月に迫りました。昨年、沖縄で開催された^{ファイバ}FIBAバスケットボールワールドカップにおいてオリンピック出場を決め、日本中を熱狂の渦に包んだ^{あかつき}AKATSUKI JAPAN！ 本市出身で本市のスポーツ大使も務める富樫勇樹選手も日本のキャプテンとして大活躍されました。
- その富樫選手の出場が期待されるパリオリンピック・男子バスケットボール予選ラウンド第 3 戦のパブリックビューイングを、8 月 2 日（金）に実施します。既に 6 月 24 日（月）から市民限定の公募を始めており、応募多数の場合は抽選とします。
- 対戦相手は未定ですが、第 1 戦はドイツ、第 2 戦は開催国のフランスと、いずれも強豪国との対戦が決定しています。開催時間の都合で第 1、2 戦はパブリックビューイングを実施しませんが、パブリックビューイングを行う第 3 戦は決勝ラウンド進出のかかった重要な試合になると思いますので、市民の皆様と新発田の地からパリへ熱い声援を届けたいと考えております。
- また、当日は、ゲストに富樫選手の父で、開志国際高等学校バスケットボール部総監督の富樫英樹^{ひでき}さんをお招きし、スポーツ・カルチャーツーリズム推進事業実行委員長の佐藤哲也さん、私の 3 人でトークセッションも予定しております。
- ぜひ、記者の皆様にもお越しいただき、一緒になって AKATSUKI JAPAN、そして富樫選手に声援を贈っていただきたいと思います。

次に、海老名市小学生の「SHIBATA 版スタディー・ツーリズム」体験についてです。

- 鎌倉時代の武将「佐々木三郎盛綱」の縁ゆかりから神奈川県海老名市と当市とは、令和3年11月に「災害時における相互応援に関する協定」を締結し、令和4年度からは、新発田の美味しいお米コンテスト上位入賞者のお米を海老名市の学校給食用に提供するなど、親睦を深めております。
- この海老名市の子どもたちには是非、新発田に来てもらい、給食で食べているお米が作られている新発田の大自然に触れてほしいという思いから、昨年度、モデル事業として、海老名市の3校の小学生6名が2泊3日で当市を訪問し、市内の小学生6名と交流を行う教育旅行を実施しました。
- この「SHIBATA 版スタディー・ツーリズム」が大変好評であったことから、今年度は海老名市からの参加校を5校に拡大し、10名の子どもたちが当市を訪れ、市内の小学生10名とともに教育旅行を実施します。
- 1日目は、サバイバル体験を通して災害時の行動や互いに助け合う精神を養います。2日目は、普段見ることのできない、内の倉ダムの内部や管理棟を見学し、農業用水や治水機能などのダムの役割を学ぶほか、「キネス天王」での長岡技術科学大学プロデュースによる科学体験、蔵春閣や五階菱で歴史と文化に触れてもらいます。3日目は、当市が取り組む「オーガニックSHIBATA プロジェクト」の一環でスマート農業や農作業体験を予定しております。

○昨年参加した海老名市の子どもたちが、9月に海老名市が開催した各学校での「避難所開設運営訓練」で、防災キャンプでの経験などを発表したところ、地域の皆様から、とても高い評価を受けたとのことでもあります。今年度の参加児童も、9月1日に開催される「避難所開設運営訓練」で、発表を行う予定であると聞いております。

○海老名市からは、子ども同士の交流に高い評価をいただいておりますが、当市としましても、子どもたちの交流を通して、海老名市の皆様に新発田市を知ってもらい、さらには、参加した子どもたちが、将来、再び新発田を訪れてもらえるよう、「SHIBATA 版スタディー・ツーリズム」として、事業のパッケージ化を進め、関係人口の創出にもつなげてまいりたいと考えております。

最後に、U・Iターン就職推進「企業見学バスツアー」及び「家賃補助制度」の開始についてです。

- 全国的に企業の人手不足が深刻な課題となっておりますが、当市においても同様であり、今こそ手を打たなければなりません。そこで、U・Iターン就職を推進するため、今年度から、「企業見学バスツアー」及び「家賃補助制度」を開始いたします。
- 「企業見学バスツアー」は、8月9日と21日に、3社ずつ企業見学を行います。首都圏には、企業や職種の数が地方とは比較にならない程たくさんありますが、テレワークの浸透や、ワーク・ライフ・バランスの充実など、働き方の多様性を考えたとき、地方には地方の良さがあります。
- お盆などで帰省される学生の皆さんに積極的に御参加いただき、市内企業の魅力を知っていただければと思います。
- また、「家賃補助制度」については、県外から市内に就職し、市内のアパートに住んだ場合、住宅手当を支給する企業へ、その一部を2年間補助する制度であります。この制度を活用し、企業の皆さんには、住宅手当の制度を充実させ、県外からの人材確保を進めていただければと思います。
- 以前は移住・定住施策として、単身世帯への家賃補助を行っていましたが、就労先を市内に限定していなかったこともあり、2年間の補助期間終了後に、当市に定住する方の割合は5割程度にとどまり、あまり効果が高いものとは言えませんでした。
- 今回は、企業の人材確保の応援を主な目的としておりますが、市内への就労を要件に加えることで、結果的に、当市に定住する割合も増えるのではないかと期待しているところです。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりイベントなどを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市をご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。